

豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画

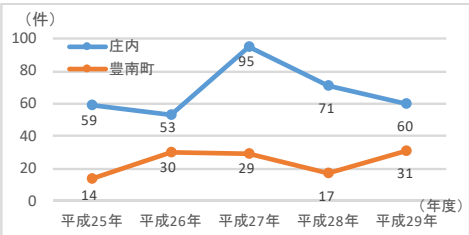
～安全・安心に暮らせるまちづくり～



【道路】
主要生活道路の計画延長約49,000mのうち、平成29年度末時点の整備済み区間延長は約23,000mであり、整備率は約47%となっています。



【木造住宅等の除却】
平成25年度から実施している木造住宅等の除却費補助件数は年々増加しており、平成29年度末時点で累計459件、1,515戸となっています。



【公園】
平成29年度末時点で82カ所、約129,000㎡、住民1人当たりの公園面積は、平成29年度末時点で2.4㎡/人となっています。



【都市再生住宅整備】
重点的に整備を進めている大島町地区主要生活道路を整備する際に必要となる従前居住者用住宅として、市営二葉第3住宅を建設しました。



地域の現況

- ・庄内・豊南町地区約505haのうち約246haが、国土交通省が公表した「地震時等に著しく危険な密集市街地」に含まれています。
- ・人口減少と高齢化が進んでおり、豊中市の中でもその傾向が顕著に表れている地域です。
- ・昭和30年代に建てられた建築物が多く、旧耐震基準建築物については、地域全体の7割以上を占めます。

はじめに

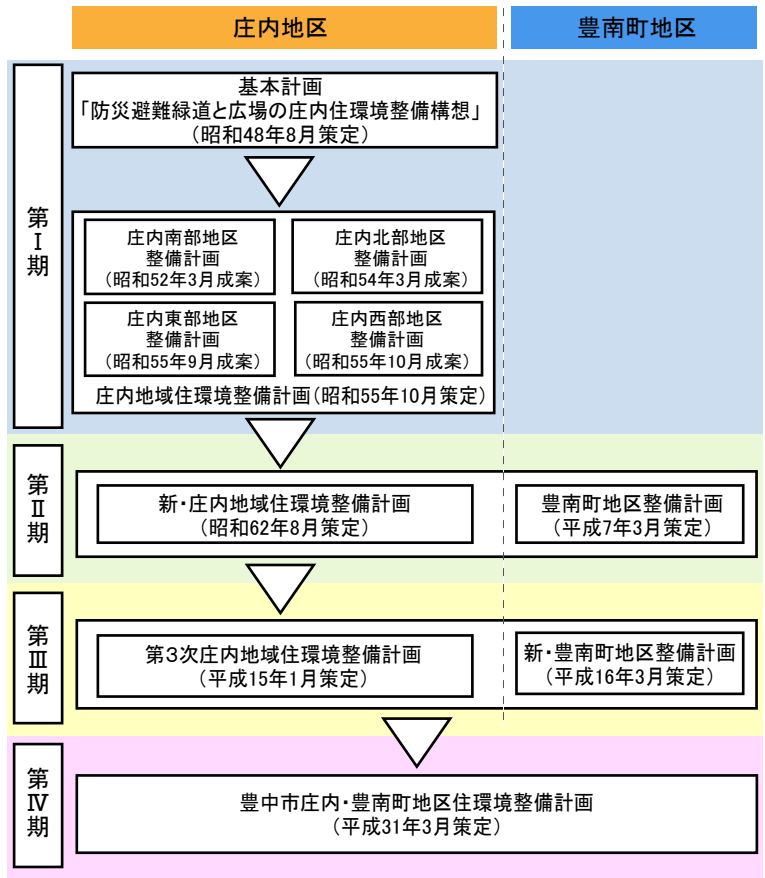
庄内・豊南町地区は、木造住宅などが密集する地域であり、住環境や防災上の課題がある地域です。

これまで、住民参加のもと地域の整備計画を策定し、住環境の改善や防災性の向上などに取り組んできましたが、様々な要因により進んでいない面があります。

今回、社会経済情勢の変化などに対応するため、「第3次庄内地域住環境整備計画」と「新・豊南町地区整備計画」の点検・検証、見直しを行い、両地区の整備を一体的に進めるため、統合した計画として「豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画」を策定しました。

整備計画の成り立ち

これまでは、それぞれの地域で社会情勢の変化などに対応した整備計画の見直しを行ってきました。



これまでの主な事業実績

目標と計画期間

地域の特性を踏まえた住みよいまちづくりとともに、道路などの都市基盤整備や建物の不燃化などにより、住環境の改善と防災性の向上に向けた取り組みを進め、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

- ① 選択と集中による主要生活道路・緑道の整備**
防災性向上や住環境改善の観点から必要な事業箇所を抽出し、選択と集中による主要生活道路・緑道の整備を行います。
- ② 不燃化促進と防災意識の啓発**
防災街区整備地区計画による不燃化誘導と木造住宅等除却費補助制度を活用し、地域の防災性を向上させるとともに、防災意識の啓発にも取り組みます。

整備方針

除却 → 建替 → 不燃化の促進

目標：
安全・安心に暮らせるまちづくり

計画期間：
平成31年(2019年)4月
～平成41年(2029年)3月



道路整備の例

まちの不燃化促進までのイメージ

【新たな整備計画における取組み】

取組み項目	主な取組み内容
① ■ 幹線道路 (都市計画道路) の整備 ■ 主要生活道路・緑道の整備	緩やかでも着実に主要生活道路等の整備が行われるような取組みを検討します。計画道路のうち、防災指標である不燃領域率(※1)の改善や消防活動困難区域(※2)の解消に寄与する箇所、現在事業中の箇所など整備の優先度が高い箇所を「重点整備箇所」として位置づけます。 ■ 幹線道路 (都市計画道路) ・三国塚口線 (国道176号～大阪池田線) ・穂積菰江線 (三国塚口線～大黒町第22号線) ■ 主要生活道路・緑道 ・大島町地区主要生活道路 ・豊南町西4丁目地内主要生活道路 ・通り池水路 (南側) 緑道 ※1 不燃領域率・・・地区内の一定規模以上の道路や公園等の空地面積、耐火建築物等の面積から市街地の燃え広がりにくさを表した指標 ※2 消防活動困難区域・・・消防車のホース延長を考慮して算定された指標。幅員6m以上の道路から用途地域によって、100mまたは120mを超える区域。
② 不燃化の促進	木造住宅等除却費補助制度などの既存施策を活用するとともに、みどりによる防災機能の強化やポケットパークなどの公園に準じた空間整備の検討を行います。
③ 防災意識の啓発	わかりやすい防災指標の提供や幅広い年齢層への防災啓発活動など、まちづくりに関わる主体が防災に対する意識を高めるための取組みを検討します。
④ 関連施策との連携	南部地域活性化構想など、関連する施策については相互に連携を図りながら目標の実現をめざします。

豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画図

